

令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育を実践する

【学校 目標】

○楽しさを感じる学校の創造「笑顔あふれる楽しい学校」

校内研究主題:情報を読み解き、自分の考えをいきいきと表現する子どもの育成

【現状と課題】

○視点1

(1)情報を読み解く力を伸ばす授業実践を行う中で、情報を読み解き、さらに自分の考えを表現する力の育成に重点を置く必要性が見えてきた。

(2)教職員、児童ともに、1人1台端末等を日常的に使う姿が見られるが、効果的な活用とはいえない場面もある。

○視点2 子どもたちが友だちと関わり合いながら、主体的に学び、自主的に考えて行動する力を育て、集団への所属感や自己存在感、自己有用感を育てていく必要がある。

○視点3 若手教員が多く、学級経営や生徒指導、教科指導、各分掌等を継承して、学校組織力・教師力を向上させていく必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①生活科・総合的な学習の時間を窓口に授業研究を進め、情報を読み解き、自分の考えを表現する力を育てる授業実践の充実と蓄積に取り組む。 ②個別最適な学びや協働的な学びの向上につながる活用場面や活用方法を追究する。	①・学校評価アンケート「自分の考えを書いたり話したりしている」(児童・肯定的意見80%以上)		
	②・学校評価アンケート「1人1台端末等の効果的な活用に向け、授業改善を行った。」(教職員・肯定的意見80%以上)		
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①「生徒指導の基礎」を意識し、支持的風土を育てる集団づくりを実践し、自己存在感や自己有用感を高める手立ての充実を図る。	①・全校児童で取り組む「富士見ど〜ん!!」の実施(月1回)		
	・児童生活アンケート「楽しく学校生活を送っている」(児童・肯定的意見90%以上)		
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①学級経営や授業づくり等における課題や方向性の共有化を図り、取組を推進する。	①・毎週金曜日、子どもの様子や課題について学年で話し合い、共有化を実施(週1回以上)		
	・「チーム富士見の一員として積極的に問題解決を図っている」等学校評価アンケート(教職員・肯定的意見90%以上)		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・4月の職員会議において学校長が教育目標や学校経営等について伝え、5月の職員会議において「学ぶ力向上策」について説明する。また、取組事項は学校だよりや学校運営協議会等で保護者や地域に発信する。
- ・取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任、視点2については子ども支援コーディネーター、視点3については学年主任が中心となって組織的な実践につなげる。
- ・9月の職員会議で取組の状況等を共有し、学校評価や全国学力学習状況調査の結果をもとに、改善策について部会でまとめ、職員会議で共有し、今後の取組につなげる。それぞれの取組事項の評価は学校だよりや学校運営協議会等で保護者や地域に発信する。

今年度の取組の成果と課題